



五日市方面を巡回する山火事防止パレードの車両

### 山火事防止呼びかけ 関係車両がパレード

4月14日、町山火事防止対策協議会（会長、鈴木重男町長）が総合センターで開催され、町、県のほか林業団体や消防団など関係者23人が出席しました。

鈴木町長は「山火事の原因は、人為的なものであることがほとんどです。これまでの対策を振り返り、関係機関が連携して防止に努めましょう」とあいさつしました。その後、山火事防止の横断幕やステッカーを付けた関係車両が役場を一齐に出発し、町内をパレードしながら注意を呼び掛けていました。

### 安全な自転車利用 江刈中がモデル校

岩手警察署、岩手交通安全協会および町交通安全協議会は4月15日、江刈中学校（鈴木雅史校長、生徒22人）に自転車マナーアップモデル校の指定書を交付しました。江刈中学校は、交通ルールの遵守や自転車マナーが評価され、3年連続の指定となります。

指定書の交付後に行われた自転車の安全に関する講習では、山崎邦廣交通指導員が自転車の点検の重要性や交差点を曲がるときの注意点などを説明。生徒たちは、正しく安全な自転車の使用に意識を高めていました。



交通指導員の指導で手信号の練習をする生徒

### 江刈小ピアノ修復 先人の想いを知る

4月15日、江刈小学校（小室好司校長、児童27人）で、今から70年前の昭和26年に、学校林を売却したお金や地域の寄付で購入した、アップライトピアノの修復作業が行われました。

修復を手がけるのは町出身の調律師、鈴木隆二さん（矢巾町）。鈴木さんが「ピアノには約8,000個の部品が使われています。皆さんが音楽を楽しめるよう考えて調律します」と話すと、児童は興味深そうに作業に見入っていました。先人の想いが込められた歴史あるピアノが、再び音を響かせる日に期待が高まります。



児童に鍵盤の仕組みを説明する鈴木さん



鈴木町長から祝い金を受け取る丹内久靖さん家族

### 健やかな成長願い 出産祝い金を交付

3月22日、出産祝い金交付式が町長室で行われ、4組の親子が鈴木重男町長から祝い金を受け取りました。

この事業は、令和3年度に新たな子育て支援策として始まったもので、第1子に10万円、第2子に20万円、第3子以降に30万円の祝い金が交付されます。鈴木町長は「町は、手厚い子育て支援を用意しています。安心して子育てをしてください」とあいさつし、祝い金を受け取った保護者は「保育園の入園準備をします」と感謝を述べていました。

### 認定農業者が連携 経営の改善目指す

町認定農業者協議会（川崎美由起会長）の令和4年度総会が3月24日、グリーンテージで開催され、34人が出席しました。

総会では、令和3年度に新たに2人が経営改善計画の認定を受け、14人が計画を更新したことが報告され、川崎会長は「研修会や情報交換を通じ会員の連帯感を強め、農業経営の改善に努めていきましょう」とあいさつしました。

また、総会に合わせて家族経営協定の研修会が開催され、会員は八幡平市農業改良普及センター職員の説明に真剣に耳を傾けていました。



あいさつをする川崎会長（円内）と出席者の皆さん

### 山村の豊かさ学ぶ 研修生5人が入所

町山地酪農研修センターの入所式は4月5日、くずまき交流館プラトーで行われ、5人が第43期生として入所しました。

鈴木重男町長は、「食糧、環境、エネルギーの取り組みを一貫して学び、それぞれの将来を決める研修期間にしてください」とあいさつ。研修生を代表し、今松純也さん（岩手町）が「一つの事業にこだわらずさまざまな体験を重ね、山村の豊かさの可能性を発信できる人間をめざします」と誓いを述べ、学びの1年のスタートに意欲を見せていました。



第43期生の皆さん。（左から）細野幸季さん、鈴木聖也さん、今松純也さん、白椋俊さん、太田代歩柚さん